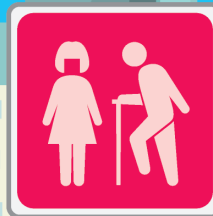


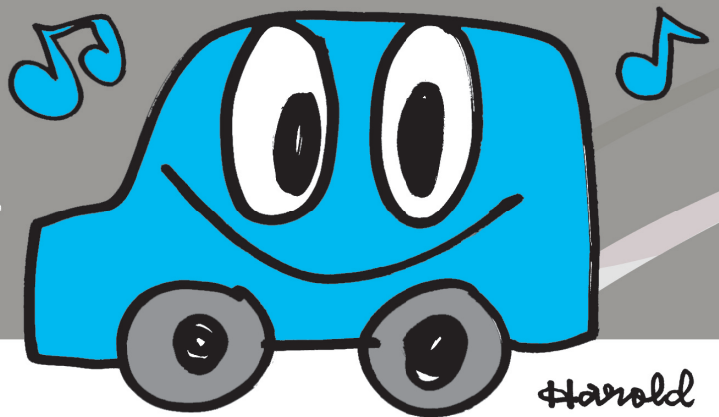
知れば知るほど

いいね!

# 軽自動車



いっしょに走ろうよ。



Harold



DAIHATSU

TOYOTA

NISSAN



SUBARU

HONDA



MAZDA



MITSUBISHI MOTORS



## 軽自動車が高い支持を集める理由。

それは、**すぐれた経済性と使いやすさ、そして環境へのやさしさ。**

いまや日本国内で保有されるクルマの3台に1台を占めるほど、社会にしっかりと根づいている軽自動車。1949年に規格が制定されて以来、実用性にすぐれた乗り物として日本の国になくしてはならない存在なのです。

## 経済的だからうれしい

### 燃費、価格、税金にメリット

軽自動車の選択理由	(複数回答)	燃費が良い	価格が安い	税金が安い
		軽乗用系	59%	34%
軽キャブバン		28%	42%	55%
軽トラック		35%	46%	46%

※軽自動車購入ユーザーの軽選択時の重視点 資料:「2015年度 軽自動車の使用実態調査報告書」2016年3月 日本自動車工業会

## コンパクトだから使いやすい

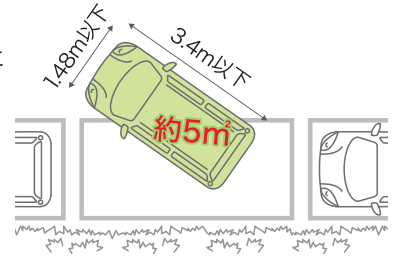
### 縦列駐車もらくらくスムーズ!

軽自動車の最小回転半径は平均4.5m\*。小回りがきくので、わずかなスペースでの駐車もらくにできます。また専有面積約5㎡の省スペース性は、渋滞の緩和にもひと役かっています。

※「自動車ガイドブック vol.62 2015~2016」日本自動車工業会のカタログに掲載された軽乗用車の平均値

軽自動車の選択理由	(複数回答)	運転がしやすい	狭い道で使いやすい	駐車しやすい
		軽乗用系	65%	47%
軽キャブバン		46%	58%	26%
軽トラック		33%	54%	23%

※軽自動車購入ユーザーの軽選択時の重視点 資料:「2015年度 軽自動車の使用実態調査報告書」2016年3月 日本自動車工業会



### 狭い道もスイスイ快適!

日本の道路の約84%は、道幅平均3.8m\*の狭い市町村道。車幅1.48m以下の小さい軽自動車なら、市街地の路地や農道もスムーズに。対向車とのすれ違いも安心です。

※一般道路全体の平均幅員は4.3m

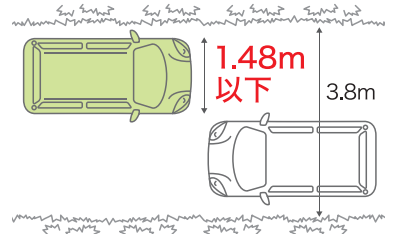
#### 一般道路に占める市町村道の割合

市町村道 **84.7%** (平均幅員3.8m)

都道府県 10.7% (平均幅員6.2m)

一般国道 4.6% (平均幅員8.1m)

資料:2014年4月1日現在、「道路統計年報」国土交通省 ※幅員は車道部のみ

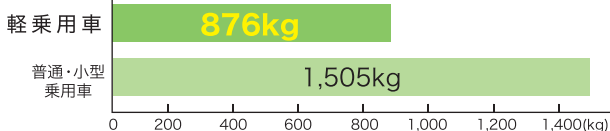


## 省資源・省エネルギーに貢献

軽乗用車の重量は  
普通・小型乗用車の**約6割**

小さく軽い車体で  
排気量もコンパクト!

#### 車両重量



資料:車両重量は「自動車燃費一覧 平成28年3月」(国土交通省)に掲載されたガソリン乗用車の車両重量中の中間値を平均したもの

軽乗用車の道路損傷度は  
普通・小型乗用車の**約1/9**

道路にも  
やさしく

#### 道路損傷度

	軽乗用車	普通・小型乗用車
車両重量	876kg	1,505kg
重量比	0.58	1
道路損傷度	0.11	1

※車両重量は「自動車燃費一覧 平成28年3月」(国土交通省)に掲載されたガソリン乗用車の車両重量中の中間値を平均したもの  
※道路損傷度は軸荷重の4乗に比例する(「舗装設計施工指針」(社)日本道路協会)

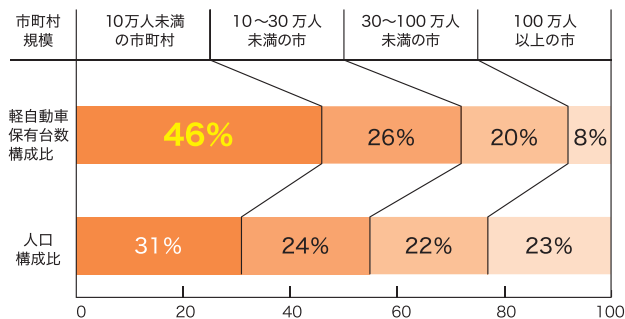


# 軽自動車を地方で多く見かける理由。 それは、公共交通機関に代わる大切な足だから。

人口構成比が3割に過ぎない人口10万人未満の市町村で、全国の軽自動車の半数近くが保有されています。また、軽自動車の普及率は鉄道営業キロ数が短い県ほど高く、移動手段として不可欠であることがわかります。

## 10万人未満の市町村で 約半数が保有されている

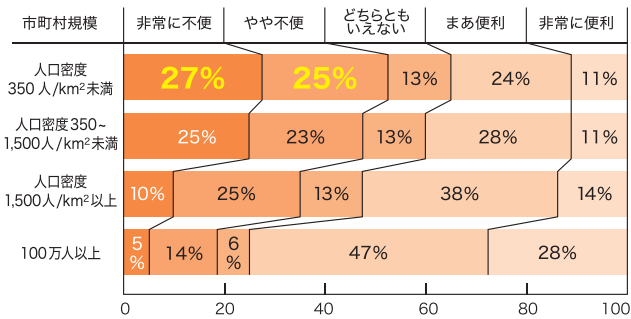
### 軽自動車保有台数の人口規模別構成比



資料:「2015年度 軽自動車の使用実態調査報告書」2016年3月 日本自動車工業会

## 人口密度350人/km<sup>2</sup>未満の市町村で 半数以上が公共交通機関について不便だと感じている

### 軽乗用系ユーザーから見た公共交通の利便性



資料:「2015年度 軽自動車の使用実態調査報告書」2016年3月 日本自動車工業会

## 軽乗用系ユーザーの86%が 軽自動車がなくなると困ると感じている

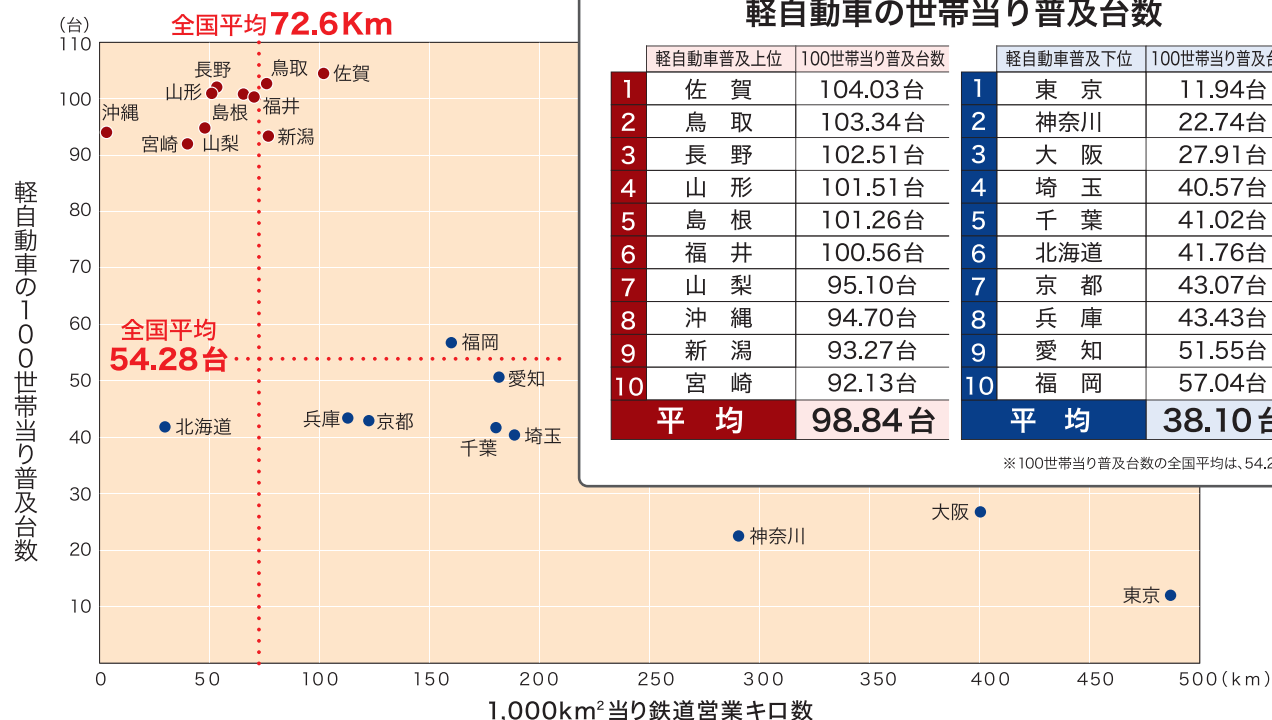
### 軽自動車がなくなった場合の困窮度



資料:「2015年度 軽自動車の使用実態調査報告書」2016年3月 日本自動車工業会

## 軽自動車の普及率は鉄道営業キロ数が短い県ほど高い

### 軽自動車の普及と鉄道営業キロの関係



### 軽自動車の世帯当り普及台数

軽自動車普及上位		100世帯当り普及台数		軽自動車普及下位		100世帯当り普及台数	
1	佐賀	104.03台		1	東京	11.94台	
2	鳥取	103.34台		2	神奈川	22.74台	
3	長野	102.51台		3	大阪	27.91台	
4	山形	101.51台		4	埼玉	40.57台	
5	島根	101.26台		5	千葉	41.02台	
6	福井	100.56台		6	北海道	41.76台	
7	山梨	95.10台		7	京都	43.07台	
8	沖縄	94.70台		8	兵庫	43.43台	
9	新潟	93.27台		9	愛知	51.55台	
10	宮崎	92.13台		10	福岡	57.04台	
平均		98.84台		平均		38.10台	

※100世帯当り普及台数の全国平均は、54.28台

資料:100世帯当り普及台数は平成27年12月末現在、全国軽自動車協会連合会調べ。1,000km<sup>2</sup>当り鉄道営業キロ数は平成25年3月31日現在、地方運輸局調べ。都道府県総面積は、平成27年10月1日現在、国土交通省 国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」

●普及上位 ●普及下位



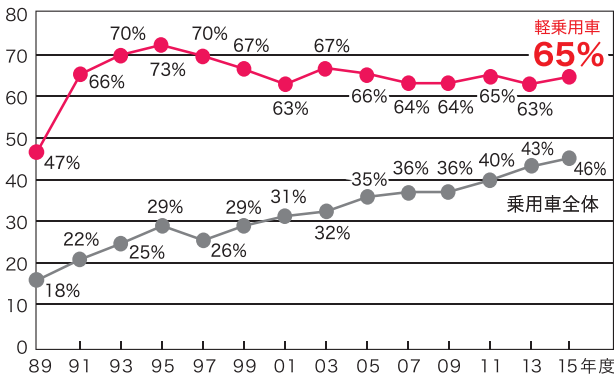
# 軽自動車をよく利用している人で圧倒的に多いのは女性ユーザー。そして60歳以上の高齢者も増加。

軽自動車の女性ユーザーを見ると、すべての年代で就業率が高く、まさに働く女性を助けるクルマと言えます。さらに、60歳以上の高齢者ユーザーは3割で、「買い替えるならつぎも軽自動車」と強く支持されています。

## 女性にとって頼れる味方

### 軽乗用車ユーザーのうち65%は女性

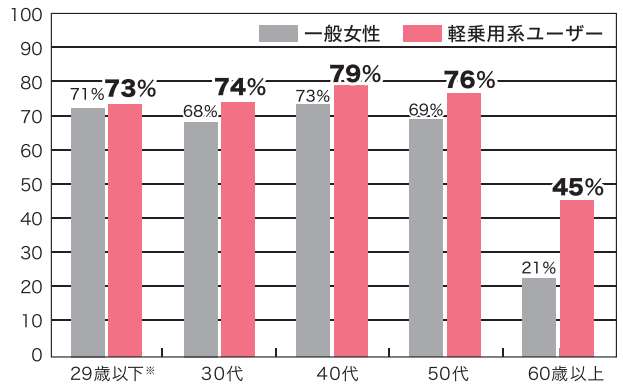
#### 女性ユーザー比率の推移



資料：軽乗用車は「2015年度 軽自動車の使用実態調査報告書」2016年3月 日本自動車工業会  
乗用車全体は「2015年度 乗用車市場動向調査」2016年3月 日本自動車工業会（乗用車全体には軽乗用車も含む）  
※05年度より軽乗用車に軽キャブワゴンを含む

### 女性軽乗用系ユーザーの就業率はすべての年代で高い

#### 年代別に見た女性の就業率

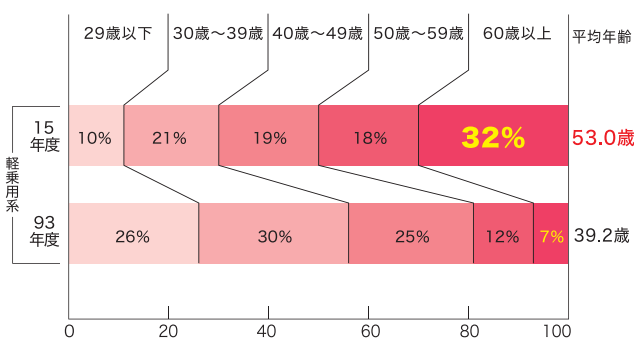


資料：「2015年度 軽自動車の使用実態調査報告書」2016年3月 日本自動車工業会  
※軽乗用系ユーザー：18~29歳 一般女性：20~29歳

## 高齢者の間で高まる支持

### 軽乗用系ユーザーのうち60歳以上の占める割合は約4.5倍に増加

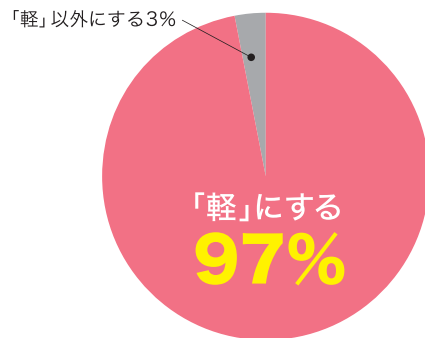
#### 軽自動車ユーザーの年齢



資料：「2015年度 軽自動車の使用実態調査報告書」2016年3月 日本自動車工業会

### 高齢軽乗用系ユーザーの97%が「軽」と回答

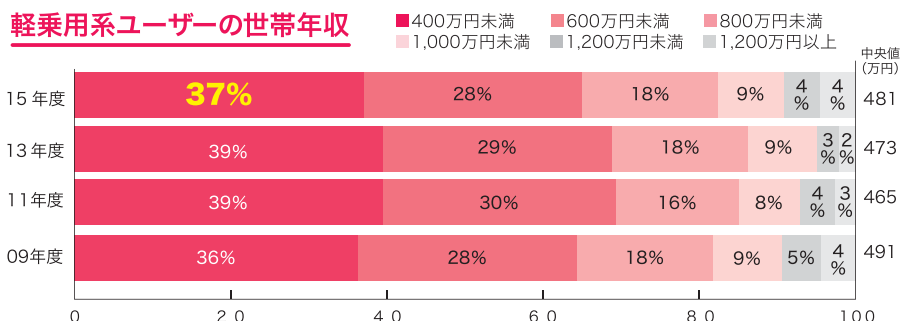
#### つぎに買い替えたい車種



資料：「2015年度 軽自動車の使用実態調査報告書」2016年3月 日本自動車工業会

### 軽乗用系ユーザーの約4割は、世帯年収「400万円未満」

#### 軽乗用系ユーザーの世帯年収



資料：「2015年度 軽自動車の使用実態調査報告書」2016年3月 日本自動車工業会



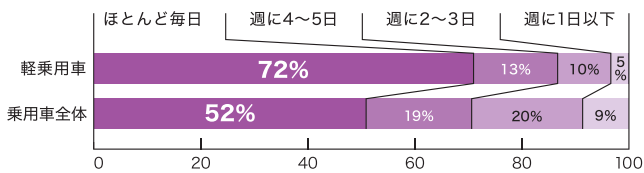
# 軽自動車は、毎日の買い物はもちろん、通勤・通学、配送業務から農作業でも幅広く活躍。

日常生活から個人商店や町工場、農家での仕事まで、軽自動車はフットワークの良さを発揮しています。また、軽自動車の保有世帯のうち76%が他にもクルマを持っており、セカンドカーとしての役割を担っています。

## いつでもどこでも手軽に利用

### 72%のユーザーがほとんど毎日使用

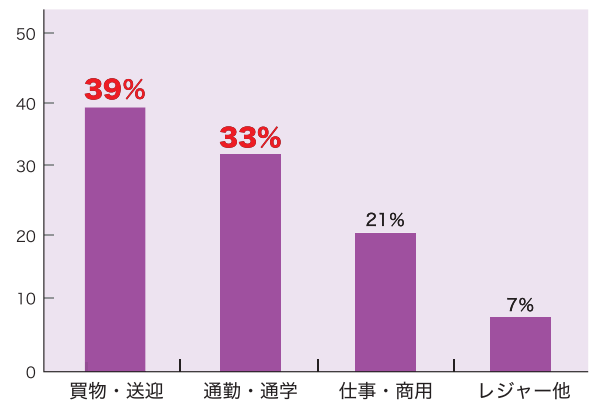
#### 軽乗用車ユーザーの使用頻度



資料：軽乗用車は「2015年度 軽自動車の使用実態調査報告書」2016年3月 日本自動車工業会  
乗用車全体は「2015年度 乗用車市場動向調査」日本自動車工業会（乗用車全体には軽乗用車を含む）

### 72%のユーザーが「買物・送迎」「通勤・通学」に使用

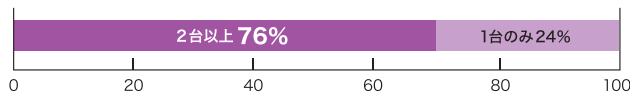
#### 軽乗用車ユーザーの主な用途



資料：「2015年度 軽自動車の使用実態調査報告書」2016年3月 日本自動車工業会

### 76%の世帯が他にもクルマを保有

#### 軽乗用系保有世帯での複数保有率



資料：「2015年度 軽自動車の使用実態調査報告書」2016年3月 日本自動車工業会

## 仕事や商売の良きパートナー

### 全商用車のうち 軽商用車の保有台数比率

59%は  
軽自動車



資料：2016年3月末現在、「自動車保有車両数」自動車検査登録情報協会

### 軽商用車の主な用途

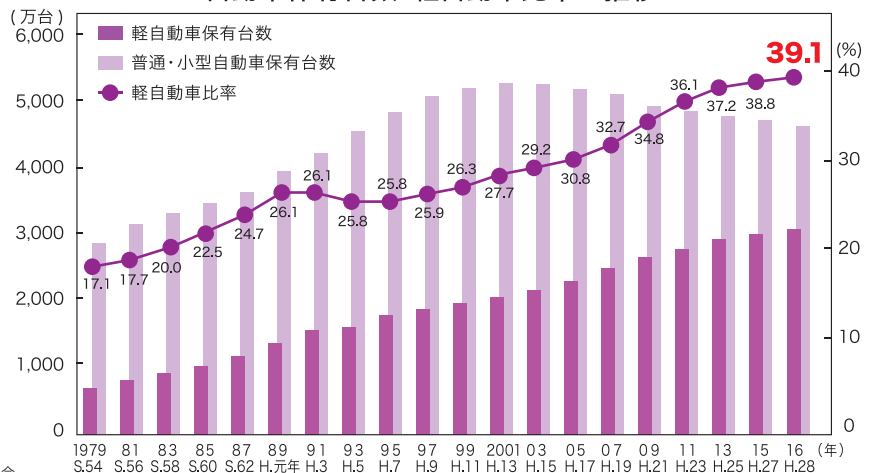
(複数回答)	配達・仕入れ	工場等への足	出畑への往復・農作物の運搬
軽キャブバン	56.8%	42.3%	18.4%
軽トラック	29.0%	27.9%	57.4%

資料：「2015年度 軽自動車の使用実態調査報告書」2016年3月 日本自動車工業会

## 毎日の暮らしから、クルマ社会の未来まで。ますます高まる軽自動車の必要性。

軽自動車の保有台数は、3,000万台以上。これは、自動車の総保有台数の約4割近くを占めることになります。毎日の暮らしや仕事はもちろん、より良い環境づくりやクルマ社会の未来に向けて。軽自動車は、かけがいのない存在として貢献していきます。

### 自動車保有台数・軽自動車比率の推移

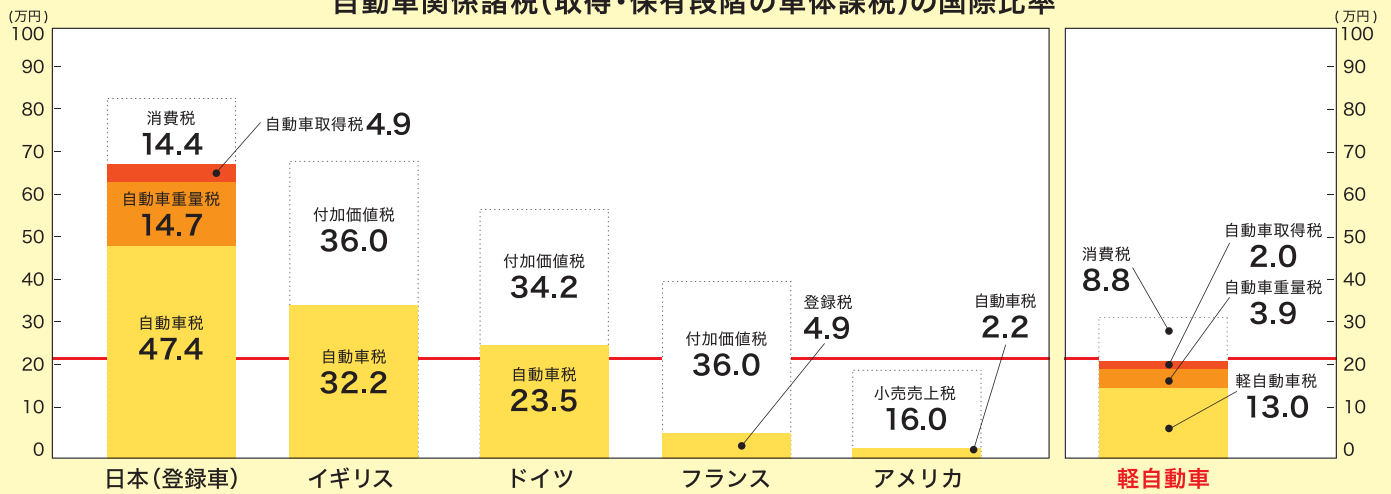


資料：各年3月末現在、「自動車保有車両数」自動車検査登録情報協会



# 軽自動車ユーザーの税負担が国際水準です。

自動車関係諸税(取得・保有段階の車体課税)の国際比率

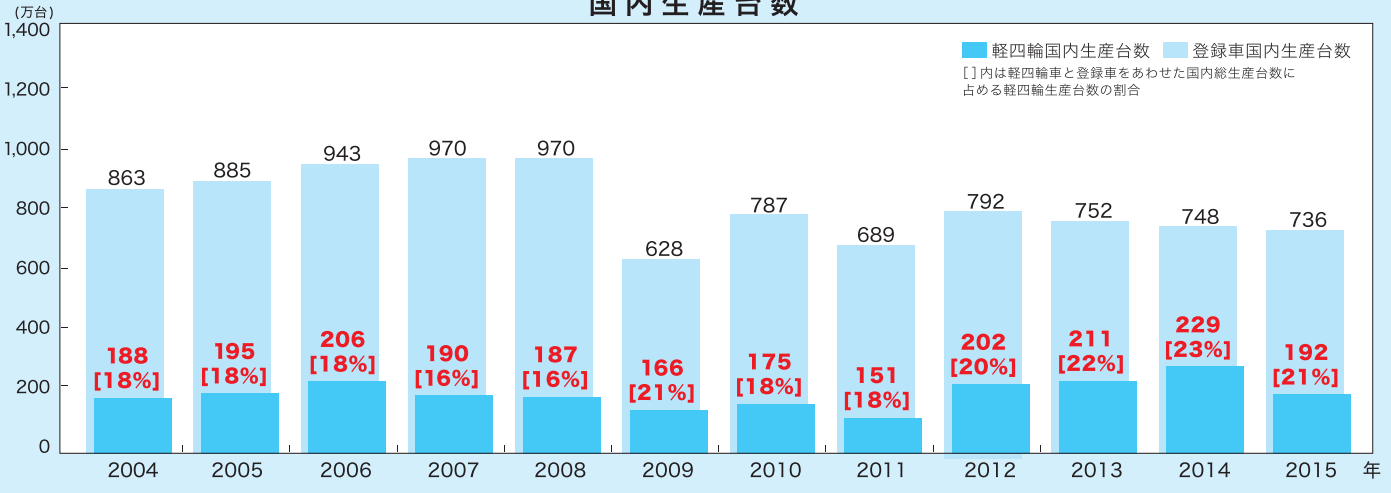


前提条件: ①排気量1800cc ②車両重量1.5トン以下 ③JC08モード燃費値 15.5km/ℓ (CO<sub>2</sub>排出量 150g/km) ④車体価格180万円(軽は110万円) ⑤フランスはパリ、米国はニューヨーク市 ⑥フランスは課税馬力8⑦12年間使用(平均使用年数:自検協データより) ⑧為替レートは1ユーロ=¥134、1ポンド=¥185、1ドル=¥121(2015年4月~2016年3月の平均)  
 注 1. 2016年4月時点の税体系に基づく試算。 2. 日本のエコカー減税等の特別措置は考慮せず。  
 資料: 日本自動車工業会調べ

# 軽自動車は国内の雇用に貢献しています。

軽自動車はすべて日本国内で生産されており、国内生産台数の約2割に当たる200万台前後で推移しています。経済の好不況に左右されにくいため、軽自動車の生産は国内の雇用に安定的に下支えしていると言えます。また、新車販売台数のうち約4割が軽自動車であり、製造関連だけでなく、裾野が広い販売・整備関連の雇用にも大きく貢献しています。

国内生産台数



資料: 日本自動車工業会調べ

# 軽自動車は海外でも活躍しています。

軽自動車の技術をベースとしたクルマはインド、インドネシア、パキスタン、マレーシアなどをはじめとするアジアの市場で大きな存在感を示しています。アジアなどの国々ではまだ高速道路が少なく、狭い道路が多いこと、燃費が良く価格の安いことなど、軽自動車の持つ本来の魅力や軽自動車で培った技術が、海外でもモータリゼーションの発展に大きく貢献しています。

発行 一般社団法人 日本自動車工業会 軽自動車特別委員会  
 一般社団法人 全国軽自動車協会連合会

【参考】本冊子では、原則として軽自動車を次のように分類しています。  
 ・軽乗用車: 軽乗用車(軽キャブワゴンを含む)、軽ボンバン  
 ・軽商用車: 軽キャブバン、軽トラック

